産業標準案作成対象テーマの審議について

日本産業規格（JIS）の制定、改正又は廃止のための産業標準案（以下、JIS 案という。）の作成に着手するに当たっては、当会認定産業標準作成機関 JIS 案作成規程に基づき、当該 JIS 案作成対象テーマが適切であることについて、主務大臣による事前調査、及び JSA 事務局による“JIS 案の作成開始要件”を満たすことの前確認を経て、産業標準作成委員会にお諮りすることとなっております。

つきましては、次ページ以降の JIS 案作成対象テーマについて、理由（必要性）及び期待効果、JIS 案の作成開始要件への適合状況、作成開始予定などを記載しておりますので、JIS 案の作成に着手してよろしいかご審議をお願いいたします。また、産業標準作成委員会の下に JIS 素案の調査審議及び作成を行うための WG を設置することについても併せてご審議をお願いいたします。

なお、字句等編集上の修正については、産業標準作成委員会事務局に一任いただきますようお願いいたします。また、ご承認いただいた JIS 案作成対象テーマは、利害関係者に公表するために JIS 作成予定一覧表として JSA ウェブサイト掲載いたします。

※選定基準 3（産業標準化の利点・欠点）各コードの内容につきましては、
下記リンク先の 5～6 ページにてご確認いただけます。

「産業標準案等審議・審査ガイドライン」

URL <https://www.jisc.go.jp/jis-act/pdf/shingishinsa-guideline.pdf>

産業標準案作成対象テーマ一覧(改正)

認定機関	産業標準作成委員会	制定改正/廃止	規格番号	JIS案の名称	JIS案の英文名称	改正する理由(必要性)	期待効果	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	対応する国際規格との対応の程度	選定基準1 (JIS法第2条の産業標準化の対象)	選定基準2 (JIS法第1条の法律の目的)	選定基準3 (産業標準化の利点・欠点)	選定基準4 (国が主体的に取り組む分野の判断基準)	選定基準5 (市場適合性に関する判断基準)	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始予定
JSA	11 産業 機械	改正	B8613	ウォーターチリングユニット(追補1)	Water chilling units	この規格は、容積形電動圧縮機、蒸発器、凝縮器などによって冷凍サイクルを構成し、水の冷却又は加熱を行うウォーターチリングユニットについて規定したものであり、1981年に制定されてから、2回の改正を経て、2019年に改正された。 その後、2019年改正後に、この規格の表5の見出し欄及びその条件値の内容が実態にそぐわないような状況にあり、適切な内容に改める必要があるため、市場の混乱を避けるため、その点について早急に修正を行う必要があると判断し、今回、改正を行うこととした。	この改正によって市場の混乱を回避でき、当該製品の適正な試験をより円滑に実施できることが期待できる。さらに、この改正によって、製造業者及び使用者間の相互理解や効率的な産業活動が促進され、これらの製品の環境保全対応を加速する効果も期待できる。	主な改正点は、次のとおり。 ・水冷式ユニット試験条件(表5)において、表の列見出しを当該製品機種熱交換方式に見合った項目「冷却水又は熱源水(熱源側)」に変更し、空冷式の条件値を水冷式の条件値に変更する。	—		無	第2条の該当号: 1(種類、寸法、構造、品質、性能) 対象事項: ウォーターチリングユニット	法律の目的に適合している。	利点: ア、イ 欠点: いずれも該当しない。	—	関連する生産統計等によって、市場におけるニーズが確認できる)	一般社団法人日本冷凍空調工業会のWG	2025年10月